

第 228 回例会 講演会

日時

2022 年 6 月 14 日 (火) 14:30 ~ 17:10

会場

[リアル会場]
NICT 未来 ICT 研究所脳情報通信融合研究センター (CiNet) 大会議室 (1C1)
大阪府吹田市山田丘 1-4 大阪大学吹田キャンパス内

参加無料

ハイブリット開催
リアル参加 × リモート参加

事前登録制

講演 1 14:40 ~ 16:10

「アバターと未来社会」

石黒 浩氏

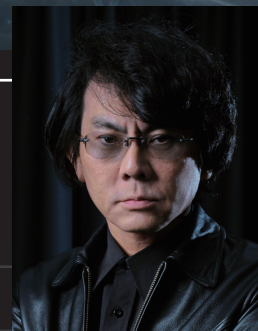
大阪大学基礎工学研究科教授・ATR 石黒浩特別研究所所長

コロナ禍を経て、リモートでの活動が定着した今後の社会において期待が集まるのが、アバターと呼ばれる遠隔操作 CG キャラクターや遠隔操作ロボットを用いた活動である。アバターを用いることで、高齢者や障がい者を含む誰もが、身体的・認知・知覚能力を拡張しながら、何時でも何処でも様々な活動に自在に参加できるようになる。そうした新たな社会を仮想化実世界と呼ぶ。

本講演ではアバターの研究開発とそれが実現する仮想化実世界の可能性と問題、さらには、そこから始まる未来社会について議論する。

講師プロフィール

大阪大学基礎工学研究科博士課程修了工学博士
京都大学情報学研究科助教授、大阪大学工学研究科教授を経て、
2009 年より、大阪大学基礎工学研究科教授 (大阪大学名誉教授)
ATR 石黒浩特別研究所客員所長 (ATR フェロー)
2020 年より、JSTMOONSHOT 目標 1 プロジェクトマネージャー、
大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー
2021 年より、AMITA 株式会社代表取締役
社会で活動するロボットの実現を目指し、知的システムの基礎研究と応用研究に
取り組む。これまでに人と関わるヒューマノイドやアンドロイド、自身のコピー
ロボットであるジェミニノイドなど多数のロボットを開発
2011 年大阪文化賞受賞
2015 年文部科学大臣表彰受賞およびシェイク・ムハンマド・ビン・ラーシド・
アール・マクトゥーム知識賞受賞
2020 年立石賞受賞
主な著書は「ロボットと人間」(岩波新書)、「ロボットとは何か」(講談社別冊新書)、
「どうすれば「人」を創れるか」(新潮社)、「アンドロイドは人間になれるか」(文春新書)等



講演 2 16:10 ~ 17:00

「Beyond 5G の実現に向けた最新動向と今後の展開」

井出 真司氏

総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課新世代移動通信システム推進室室長

国内外において 5G の商用サービスの展開が進められており、海外においては、5G の次の世代となる Beyond 5G/6G の実現に向け、多額の予算を投じて研究開発を進めている。総務省では、2020 年に「Beyond5G 推進戦略」を策定し、研究開発を推進をしている。また、国際電気通信連合 (ITU) においては、Beyond5G の開発方針などを定めた「ビジョン勧告」を 2023 年 6 月に策定すべく議論を進めているほか、「Beyond 5G 推進コンソーシアム」においては、産学官連携のもと、ホワイトペーパー策定や国際連携等を進めている。本講演では、大阪・関西万博を基点とする Beyond 5G の展開の方向性を含め、Beyond 5G の実現に向けた最新動向や今後の展開について説明する。

講師プロフィール

2001 年総務省入省
その後、インターネット、次世代移動通信システム、高度道路交通システムなど、
情報通信分野における技術政策の企画立案、国際標準化等に從事
2021 年 7 月より総務省総合通信基盤局移動通信課新世代移動通信システム推進室長 (現職)



申し込み・問い合わせ先

情報通信技術研究交流会 (AC・Net) 事務局

E-mail: acnet@ml.nict.go.jp

AC・Net ホームページより参加申し込み書を
確認の上お申込みください。
右記 QR コードからもアクセスいただけます。

https://www2.nict.go.jp/advanced_ict/ACnet/



「アバターと未来社会」

Date/日時：2022年6月14日（火）14：40～16：00

Place/会場：情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター 1階 大会議室(1C1)
(吹田市山田丘1-4 大阪大学吹田キャンパス内)

Speaker/講演者

石黒 浩 氏

大阪大学基礎工学研究科 教授・ATR石黒浩特別研究所 所長

Abstract/概要

コロナ禍を経て、リモートでの活動が定着した今後の社会において期待が集まるのが、アバターと呼ばれる遠隔操作CGキャラクターや遠隔操作ロボットを用いた活動である。アバターを用いることで、高齢者や障がい者を含む誰もが、身体的・認知・知覚能力を拡張しながら、何時でも何処でも様々な活動に自在に参加できるようになる。そうした新たな社会を仮想化実世界と呼ぶ。

本講演ではアバターの研究開発とそれが実現する仮想化実世界の可能性と問題、さらには、そこから始まる未来社会について議論する。。

Biography/経歴

石黒 浩（いしぐろ ひろし）

大阪大学基礎工学研究科博士課程修了 工学博士

京都大学情報学研究科助教授、大阪大学工学研究科教授を経て、
2009年より、大阪大学基礎工学研究科教授（大阪大学栄誉教授）
ATR石黒浩特別研究所客員所長（ATRフェロー）

2020年より、JSTM00NSHOT目標1プロジェクトマネージャー、
大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー

2021年より、AVITA株式会社代表取締役
社会で活動するロボットの実現を目指し、知的システムの基礎研究と応用研究
に取り組む。これまでに人と関わるヒューマノイドやアンドロイド、自身のコ
ピーロボットであるジェミノイドなど多数のロボットを開発

2011年 大阪文化賞受賞

2015年 文部科学大臣表彰受賞およびシェイク・ムハンマド・ビン・ラーシド・アール・マ
クトゥーム知識賞受賞

2020年 立石賞受賞

主な著書は「ロボットと人間」（岩波新書）、「ロボットとは何か」（講談社現代新書）、「どう
すれば「人」を創れるか」（新潮社）、「アンドロイドは人間になれるか」（文春新書）等

「Beyond 5Gの実現に向けた最新動向と今後の展開」

Date/日時：2022年6月14日（火）16：10～17：00

Place/会場：情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター 1階 大会議室(1C1)
(吹田市山田丘1-4 大阪大学吹田キャンパス内)

Speaker/講演者

井出 真司 氏

総務省総合通信基盤局電波部

移動通信課新世代移動通信システム推進室 室長

Abstract/概要

国内外において5Gの商用サービスの展開が進められており、海外においては、5Gの次の世代となるBeyond 5G/6Gの実現に向け、多額の予算を投じて研究開発を進めている。総務省では、2020年に「Beyond5G推進戦略」を策定し、研究開発を推進をしている。また、国際電気通信連合（ITU）においては、Beyond5Gの開発方針などを定めた「ビジョン勧告」を2023年6月に策定すべく議論を進めているほか、「Beyond 5G推進コンソーシアム」においては、産学官連携のもと、ホワイトペーパー策定や国際連携等を進めている。本講演では、大阪・関西万博を基点とするBeyond 5Gの展開の方向性を含め、Beyond 5Gの実現に向けた最新動向や今後の展開について説明する。

Biography/経歴

井出 真司（いで しんじ）

2001年 総務省入省

その後、インターネット、次世代移動通信システム、高度道路交通システムなど、情報通信分野における技術政策の企画立案、国際標準化等に従事

2021年7月より総務省合通信基盤局移動通信課新世代移動通信システム推進室長（現職）